

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス岐阜長森教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～	令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 22日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内のイベント等での連携	マルエイグループの会社と連携して、ソーシャルサポートでの就労体験や農業体験などのイベントを行い、将来働くことに意識が向くような活動を取り入れています。また、ご本人やご家族様との面談等で長所を共有し、どんな職種や仕事内容に向いているのか等、夢を語りあひながら卒業後、就職したときの生活に見通しが持てるようにしています。	弊社の他部署、マルエイグループ会社の中で就労体験やイベントで交流をしている所が毎年決まっています。さらなる職種の就労体験やイベント交流が出来るように法人内外との連携を組織的に行えるようにしていきます。
2	就労を意識したトレーニングと子ども達のニーズに沿った支援	就労準備型の放課後等デイサービスとして、社会に出た自分を意識できる日常スキルや就労スキルを中心に、ソーシャルスキルトレーニングや就労トレーニングを行っています。また、活動内容を子ども達が選んで通所してくる子が多いため、子ども達のニーズを聞き、おやつ作りやご飯作り、工作、運動、季節のイベント等を活動内容に取り入れています。	プログラミングや、料理、運動等多岐にわたる子ども達のニーズに対応しながら行っていますが、一人一人の子ども達のレベルに合わせた活動を設定することが難しくなっています。今後は、子ども自身が内在的に持つ力を発揮できるように、職員の資質向上を目指しながら、ニーズに合わせたクラブ活動の充実を図っていきます。
3	文化祭での交流	今年度、初めての取り組みとしてハッピーテラス岐阜梅林教室・長森教室・ソーシャルサポートさん・良知高等学院の合同文化祭を企画しました。文化祭に向けての作品作りや、文化祭での合唱発表等を通して、保護者の方には普段の子ども達の様子、子ども達には達成感を感じてもらうことができました。	来年度の文化祭に向けて、より多くの作品、ダンスや合唱などの発表を考えていきます。また、保護者様からは「普段の子ども達の様子を写真で見ることができて嬉しい」というお言葉をいただいたので、子ども達の様子が見られる機会を増やしていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や学童児童などとの交流	クリスマス会で高校生徒の交流や、餅つき大会や流しそうめん、運動会等で地域の放課後等デイサービスとの交流はあったが、地域の方や学童保育児童との交流は出来ていませんでした。	地域の子ども達や学童の子ども達、グループ会社の社員の子どものも達との交流を図れるようなイベントを企画し、地域の同年代の子ども達との交流が出来る機会を設けていきたいです。
2	保護者様同士の交流支援	子ども達だけでなく、そのご家族にも寄り添った家庭支援を意識して取り組み、保護者会参加者の交流や稲刈り、餅つきなどのイベントを通して保護者同士の交流を提案しています。しかし、中高生の子ども達は保護者と一緒に参加する子が減り、子どものみの個人参加が多く見られ、保護者同士の交流が少ないのが現状です。	保護者会の回数を多くすると同時に、保護者参加型のイベントを同法人内のハッピーテラス岐阜梅林教室と連携して行い、保護者同士で情報交換できる場の提供を行ってまいります。
3	マニュアルや職員で定期的に行っている訓練の保護者への周知の仕方を検討	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練は実施しているが、保護者に周知・説明が足りなかったです。	事業所で行っている、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等について今後は保護者の方に周知・説明の仕方を工夫していくようにします。また、定期的に行っている訓練については、通信などで実施の周知を行ってまいります。